

と「県がイベントやってるんだ！」と思うようになりました。県職員って、身近なところで活躍してるんだというのは新たな発見でした。

いつも誰かが見守ってくれている、そんな安心感があります。

◆職場のサポートは？

竹中 入庁したばかりの頃は、先輩トレーナーをはじめ、係長、係員の皆さん全員で教えてくださいました。係のチームワークがとてもよかったです。多少失敗しても「大丈夫、大丈夫。」と手厚いサポートがあって。OJTは十分すぎるくらいでした。

蛭田 僕も1年目のときは、歳の近い先輩から「困っていることない？」と毎日声をかけてもらっていました。仕事で悩むことがあっても、いつも先輩方が助けてくれたので安心して仕事ができる環境でした。

宇野 私の先輩トレーナーも、こちらから聞くよりも先に声をかけてくださる方でした。

天野 土木職は、長年皆さん一緒に仕事をされているので連帯感があり、知識が豊富な方が多く、忙しい中でも、いろいろ教えてもらっています。先輩職員と現場に行くと、施工方法等について教えてくれたり、僕の考えに対して、さらに改善できるアドバイスをくれたり。質問すると、忙しい時でも時間を作ってしっかり聞いてくださって。先輩方は頼もしいなと感じていました。

◆上司はどんな人？

蛭田 上司には「思うように思い切ってやってみればいいよ。フォローするから。」といつも背中を押してもらっています。

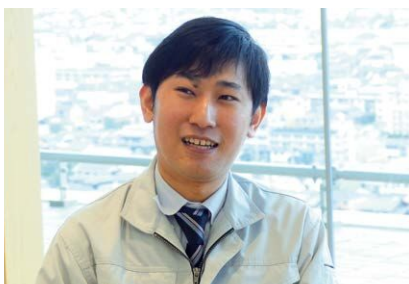
天野 上司は、よく人をみていて、声掛けをしてくださり、仕事がやりやすいように配慮してくれるので、職場の雰囲気すごくいいです。

宇野 私も、今の所属が今年新設されたばかりで忙しいのですが、「大丈夫？」と声をかけてもらえます。自分のことをみてもらえるんだなという安心感があります。

竹中 しんどい仕事をしているときこそ、よくみてくださっていますよね。がんばろうと思える。

◆同僚とのつながりは？

竹中 新規採用で県庁に配属された同期みんな仲良くしていて、出産した同期の赤ちゃんを見に行ったり、ランチに外出し



て気分転換したりしています。

宇野 農学職の先輩が他の課から話しかけに来てくれました。先輩だけど仲がいい。人数が少ない技術

職だからこそその結束感があります。

天野 技術職だと、年齢が近い先輩は特に気さくに接してくれます。先輩方は後輩の面倒見がとてもいいです。

ワークライフバランスも大切に。

◆仕事とプライベートの切り替えは？

宇野 休日は、仕事のことは考えないで、自分のやりたいことをやりきるようにしています。お金も使うので、そのためにも仕事がんばらないと、と自然にメリハリがつきます。

天野 僕も休日は、仕事のことはいい意味で忘れています。気持ちを切り替えるというか。

蛭田 僕は、逆に家とかカフェで仕事に関する勉強をしています。穏やかな環境で取り組んだ方が頭に入るかなと。あとは、仕事が落ち着いている日は定時で帰るし、仕事にキリがついた時には時間休を申請して、午後から休みを取ったりしています。先輩もそんな感じでやっていて、柔軟な休み方ができるので、一日のなかでもオンオフを切り替えてリフレッシュしています。

天野 仕事のスケジュール調整ができれば好きなときに休めますよね。

これまでの経験が今の自分に繋がっています。

◆学生時代の経験で役立っていることは？

天野 接客業のアルバイトをしていましたが、様々な人への接し方を学んだことは仕事に役立っていると思います。

竹中 私も接客業のアルバイトをしていて電話の受け方やお客様対応、基本的な挨拶の仕方などの指導を受けました。入庁したばかりの頃は、こうしたアルバイトの経験が自分の自信につながり役に立ったと思います。

宇野 私は、大学の卒業研究にとても時間がかかったので、そのときに、先を予想して、どういう結果を得られるか考えながらやる習慣ができました。この習慣のおかげで、今の業務でも効率化や失敗を未然に防ぐためにどうしたらいいか考えることができています。

蛭田 僕は、学生時代に身につけた読書の習慣が、今の仕事に役立っています。県職員は異動が多く、また、どんどん制度も変わっていくので、常に勉強しなければならない。その点、長い文章に対する耐性があるだけでもよかったなど。いろんなジャンルの本を読むと、語彙力や慣用表現、文章の構成が自然と身につくので、庁内の決裁文書の作成や県民への説明などに活きているなど感じています。

試験対策は人それぞれ、自分に合ったやり方で。

◆採用試験合格の秘訣は？

竹中 私は、がんばらないと4月からの自分が何もないと、不安で仕方なかったです。皆さんは何をモチベーションにして受験対策をされましたか？

天野 僕は1月から本格的に勉強をはじめました。モチベーションを常に保つのは難しい。あまり早く始めすぎても途中で疲れてしまう。終着点が試験なので、あまり長くやるより余裕を持つ方がいいかなと思います。

宇野 私は5月くらいに試験勉強を始めて。追い込みタイプでした。

蛭田 僕は、大学から年末年始に岐阜に帰省したとき、県庁の建物を見て、「4月からここで働くんだ!」とモチベーションを高めました。

◆面接、集団討論対策は？

宇野 私は一次試験に受かると思ってなかったのですが(笑)合格したときは、慌てて教授に面接練習に行っていたので電話しました。二次試験対策はほとんどできないまま当日を迎えて。皆さんはどのように面接や集団討論の対策をされましたか。



竹中 行政Ⅱを受験しましたが、プレゼンテーションと集団討論が必要な試験なので、大学に協力してもらって部屋を借りて集団討論や面接の練習を毎日やりました。やって、やって自分に安心感を与えるようなやり方でしたが、友だちの面接練習を見て、目をみて話すとか、好印象というのはどんなものか分かりました。そのおかげで、一緒に練習した友だちも公務員志望でしたが、全員合格しました!大学の就職課は、なんでも知っているの活用すると思います。

蛭田 僕も大学内で面接練習のサポートはあったんですけど、利用しませんでした。僕は自分の思ったことしか話せなくて、誰か別の人の言葉だと、相手に気持ちが伝わらないかなと思って。結果として、当日は自然な感じで話せました。自分の素直

な思いを話して、それでだめだったら自分のやりたいことが受け入れられなかったのかなとあきらめようと思っていました。

天野 僕も集団討論の練習は一度もしなかったです。ぶっつけ本番で。面接も教授と一度しただけ。ありのままの自分を出せばいいかなと思っていました。

新たな可能性を広げてくれる新しい試験!

◆新試験SPI方式についてどう思いますか？

竹中 令和5年度から始まるSPIを導入した新試験は、「早い、易い」がキャッチフレーズと聞きました。合格発表時期が6月初旬と早く、全国で受験ができて受け易い。

蛭田 就活の選択肢が増えますね。教養試験に勉強時間を割かなくていいところも魅力だけど、早く合格発表がもらえるところは、すごく魅力だと思います。

天野 公務員、民間どっちにしようかと悩む方は多いかなと思います。公務員試験には対策期間が必要なので早く決めて勉強をはじめないといけない。SPIなら公務員試験のような対策が不要なので悩める期間が長くなっていいですね。

宇野 私は民間企業と教員も併願で、公務員試験対策もギリギリになってはじめてだったので、合格する自信はありませんでしたが、結果として、受験しなければ今の仕事に出会えていなかったのが選択肢はたくさんあったほうがいいと思います。岐阜県庁を受験しようか迷っている方には、ぜひ受験することをお勧めしたいです!



MESSAGE

受験者へのメッセージ

自分を信じ、全力で悔いなく頑張ってください。
皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。



日本を凝縮したような変化に富んだ環境がある岐阜県で、一緒に農業を盛り上げていきましょう。



幅広い分野の中から、「これだ!」と思える仕事にきっと出会えます。



僕たちと一緒に岐阜県の未来を創りましょう!